711 号 日本風俗史学会報 〈27年9月〉

日

本

風

俗

史学会

報

711

27 • 9

■メールマガジン登録のお願い

申し上げます。 メールができる方で、まだ登録を済ませていない方は、 を立ち上げています。 既にたくさんの方からご登録を この機会に是非とも本学会のホームページより「メー いただき、経費節減にご協力をいただいております。 ルマガジン登録」の手続きをしてくださるようお願い 本学会では、メールマガジンによる**情報配信システム**

なお、手続きの流れは、以下の通りです。

学会ホームページ → メールマガジンの登録画面 必要事項の入力 → 事務局で会員確認(1週間程

 \downarrow

登録完了のメール

いただきます) → 配信の手続き作業 →

おられます。原因の一つにPCまたは携帯電話における 事務局まで確認済みのメールをお送りください。 メール受信のブロックが考えられます。ご確認の上、 方の中で、学会からのメールが届いていない方が数名 5月以降で、ハガキからメールへの移行手続きをされた

〒161—8539 東京都新宿区中落合4—31 日 本 風 俗史学 会 http://www.fuzokushi.jp

学会FAX 03-5982-7141

目白大学 社会学部

有元修一研究室

Eメール jimu@fuzokushi.jp

振替口座 事務連絡はFAXまたはメールでお願いいたします。 00150 - 6 - 72372

関東支部

近世史分科会

場所 9月14日(月)18時~21時 浅草文化観光センター4階小会議室

一吉徳資料室所蔵文献の紹介と講読」 (台東区雷門 2 – 18 – 9 – 雷門前)

柳澤信鴻著『宴遊日記』 講読」(続) 小林 すみ江 氏

松尾 政司 氏

9月28日 (月) 18時~20時 港区高輪区民センター・会議室

喫茶店・カフェの系譜 (地下鉄 白金高輪駅1番出口真上)

―風俗史試論―」

勉氏

※なお、港区への会場新規登録の関係上、今回よ 下に「研究会」がつくこととなります。ご留意 ください。 会場内の案内表示には「近代史分科会」の

服飾史分科会

9月15日 (火) 18時~

きれと着物土居〔不思庵〕 駒込パークハウス地下一階集会室

(沢・地下鉄 駒込駅東口徒歩5分

三090-8774-0074)

題目『後水尾院當時年中行事』 (56 オ)常御所にて一献 (こふ・あは)

参る、みやの御前にハ」~です。

※興味のある方、テキストは用意して いますので、 いらしてください。

中部支部

日時 9月12日 (土) 13時半~14時半

(講演 40 分・質疑応答等)

演題 「宮崎の夜神楽の紹介

~舞の特徴と伝承の仕組み」(40分)

場所 名古屋文化短大 (地下鉄「新栄町」下車、北へ徒歩2分)

佐々木 昌代氏 (名古屋女子大短大部)

関西支部

集合 日時 9月5日(土) 13 時半~ 阪急池田駅改札口 13 時半

見学会 展覧会「小林一三ワールド

逸翁の審美眼

逸翁美術館(大阪府池田市栄本町12-27)

九州支部 休会とします。 場所

■第56回大会・総会開催のお知らせ

日時と場所、テーマについてご案内いたします。 会は関東支部主催で実施します。つきましては、 平成27年度の第56回日本風俗史学会大会・総

テーマ「風俗史学からみる『昭和』 — 戦前・戦後二つの 『昭和』 の世相と風俗 —」

をベースにテーマを立ててみました。昭和の風俗 をただ単に回顧するだけではなく、 批判的に分析 戦後70年を風俗史学としてどう捉えていくか

> ています。 か、問題提起型の議論を打ち立ててみたいと考え してどう研究テーマとして継承していけばよいの

うにフィードバックすることができるのかを検討 風俗として変化したもの、変化しなかったものな 文化も大きく変わりました。風俗の変化とは何か。 してみたいと考えます。 ど風俗史学として捉えられる知見を現代にどのよ 戦前と戦後では日本人を取り巻く生活も思想も

成長前あたりまで)の軸で研究発表してくださる 方を募集します。 以上のような視点で、まずは戦前と戦後

でいく予定です。 昭和の最後までを対象にして、継続的に取り組ん また、このテーマはさらに高度経済成長期から

開催場所 見学会 研究発表 午前 午後 演 会 千代田区立日比谷図書文化館 テーマ発表 4 人募集・討論 自由発表 3 人募集予定 成田 龍一氏 (日本女子大学教授) 11 月 21 11月22日 (日) 10時~ 11月23日(月・祝)詳細未定 日(土)午後~

先をメールにて、学会事務局(表面)までお申し 式な大会のご案内は10月となります。 出ください。締切は9月25日。会員の皆様への正 望の方は、名前、論題、概要(80字程度)、連絡 2日目午前の自由発表、午後のテーマ発表をご希 小ホール

(関東支部長 鈴木 章生